



2023 6/19

4年生浄化センター見学

社会科の学習として、芸西浄化センターへ行き、日本環境メンテナンスの鹿島さんから浄水場の役割、浄化センターの流れをフローシートをもとに説明してもらいました。

子どもたちはまず、下水として、いろいろなものがこの浄化施設に流されてくることを聞きました。トイレの水や野菜の切り屑、それだけでなくパンツやバスタオル、おもちゃの刀などが流れてきたこともあることを聞き、それらを職員の方が取り除いてくれていることを知りました。

さらに、オキシデーションディッチや、最終沈殿池、脱水機など下水を処理する場所など、専門的な話についても、社会科の授業以上に深く教えてもらいました。

子どもたちは一生懸命メモをしたり、質問されたことを、自分たちの生活と結びつけて考え、答えていました。そして、水の臭いを嗅いでみたいといって色々な水の臭いを嗅いでみたり、この後施設を見学するよ、と聞くと、イエーイという元気な反応を見せていました。しかし見学の注意事項の話ですぐに切り替え、真剣に聞くことができていました。



施設見学後は、実験でトイレペーパーは水に溶けるが、ティッシュペーパーは水に溶けないことを確認しました。

そして、水にとけないもの、流されたら困るものが流れてくると、ここで働いている人たちが取ってくれていることを知りその大変さについて考えることができました。

最後に、鹿島さんから、水に溶けないものは流さない。ということも伝えてもらいました。そして、何故いけないのかについては、施設見学や実験などを通してより深く理解することができました。

見学後のあいさつでは、「自分たちが当たり前に使っている水を綺麗にしている人たちがいることを知り、水を大切にしたいと思いました。」という感想を伝えることができました。

水の大切さ、また、私たちが快適に暮らすためには生活を支えてくれる人がいるということを感じることができた社会科見学となりました。

